



上小っ子

学校 HP <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/> TEL 0554-62-3104

発行者 校長 雨宮 基博

6年生一人一人、みんなの思いが込められた最高の卒業式

3月19日(水)に「令和6年度 第151回 卒業証書授与式」を挙行了しました。当日は、雪景色となりましたが、6年生一人一人、そして在校生を代表した5年生、先生方、保護者の皆様にとって、思い出に残る最高の卒業式となりました。6年生は、どの場面でも、最高の卒業式にするぞという気持ちが行動・態度として示され、それが会場全体の雰囲気をつくっていました。特に「卒業証書授与」の場面では、6年生一人一人がとても立派な態度で卒業証書を受け取りました。学校長の式辞では、以下のように卒業生へはなむけの言葉を贈りました。

「最上級生として学校生活をリードした卒業生。どんな困難も、一人一人の「元気・やる気・勇気」が、ちがいを超えて共に働き合い、新たな課題に挑戦し、切り開く大きな力になることを学んだと思います。その中で、二つの力を大きく耕しました。一つめは、『愛する力』です。みなさんは、誕生してからこれまでご家族はもちろん、様々な方々から多くの愛情を注いでもらいました。本年度は、最上級生として下級生を思いやり、自らの愛情を注ぐ『愛する力』を耕しました。自分の愛情を注ぐ喜びを味わったことでしょう。二つめは、みんなのために進んで働き、行動する『働く力』を耕しました。働くことの喜びを感じ、自分への信頼(自信)が増したことでしょう。『愛する力』と『働く力』は、これからの人生を豊かにする土台となります。卒業生の皆さん、この二つの力をこれからも耕し続け、夢に向かって、惜しみなく努力を続けてください。きっと豊かな人生を歩むことでしょう。」

上野原小伝統の「卒業式の歌」では、卒業生一人一人、5年生、教職員の気持ちのこもった歌声が、会場全体に響き渡り、聴いている人の心を打つものとなりました。

6年生一人一人、教職員、保護者の皆様、ご参加された皆様の思いが一体となった卒業式になりました。巣立っていく66名の卒業生の門出に相応しい素晴らしい卒業式になりました。



学び舎への感謝の気持ちを込めた「6年生の愛校作業」

3月14日(金)に6年生が愛校作業を行いました。この活動は、6年生の児童が「上野原小学校の校舎・先生方・在校生へ感謝の気持ちを表し、在校生がいつまでも上野原小を大切にしてください。」という願いを込めて行われました。

当日は、6年生一人一人が、通常の清掃では、手が届かないところを丁寧に掃除を行いました。卒業を前にした学び舎への感謝の気持ちを表す機会となりました。



6年生への感謝の気持ちを込めた「5年生の会場準備」

卒業式前日の3月18(火)の6校時に、5年生の子どもたち、教職員で会場及び校舎内の清掃を行いました。5年生の子どもたちは、6年生への感謝の気持ちを込めて、心を込めて丁寧に清掃を行いました。5年生の子どもたちのがんばりで、見違えるほどきれいになりました。6年生の卒業のために、5年生の子どもたち一人一人が一生懸命にがんばる姿が、とても頼もしく感じました。最上級生になるという意識が一層高められる機会となりました。

